

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りのきっずセカンド		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 12日		～ 2024年 11月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム立案をチームで考え、それを実現できる技術を出来る範囲でもやれる事。	体幹を鍛えらしっかりと座位をとれるようなプログラムを、利用者が飽きないよう改善している。	個々の弱みも伸ばせるよう、プログラムを立案していく。
2	集団、個別プログラムを、運動系、制作系に分けたり、長期休暇の時は、個別での活動ももうけている。	毎月のカレンダー制作に加え、季節の制作を、集団、個別に分けて行っている。手先を使う事を意識している。	個々の成長に合わせた、社会的対人関係でのトラブルを防ぐための話し方や接し方を、サポートできるように取り組んでいく。
3	読み聞かせて、一定時間、話し手に注目する事。	毎日読むことで、話しながら問いかけを行ったり、内容について質問することで、聞く力、考える力をつける事が出来るようにしている。	職員が読むだけでなく、利用者にも読んでもらうことにより、他者に聞いてもらうことや、他者の前で話をする事で、肯定感を高められるように取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングの機会を提供することができていない。	実施できる体制が整っていない。(講師を依頼するにはどのようにすれば良いのか?等の具体的な方法がわからない)	保護者の方のニーズ等をお手紙で聞いていく。行政機関等へ、問い合わせをしてみる。
2	災害時の避難訓練等について。	利用回数が少ない方たちに向けての訓練が行えていない。	個別に避難についての演習等を行ってみる。保護者の方にも、災害時の対応確認を行っていく。
3	地域とのつながり	地域の方々との関わる機会がない。関わる場所や、時をどう作ればよいかわからない。行政や地域との連携が少ない。	行政機関へ積極的に足を運んだり、近くの事業所と交流を持ち地域へのつながる方法を探していく。